

施設台帳(電子データ)作成要領(設計・工事編)

福岡市財政局アセットマネジメント推進部

アセットマネジメント推進課

目次

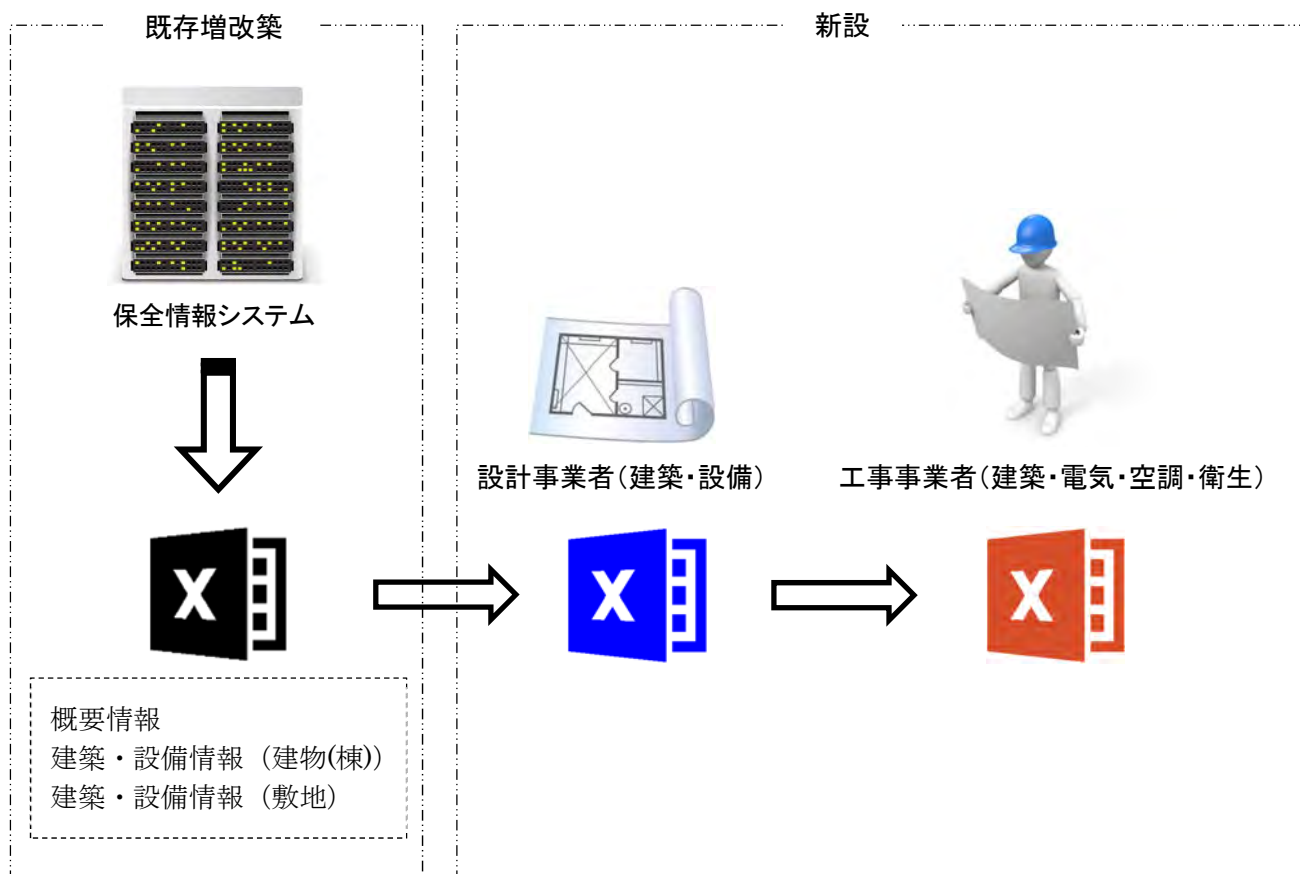
第1章 基本事項	1
1 概要.....	1
2 配布データ.....	2
3 概要情報、建築・設備情報の整理・作成.....	3
(1) ファイル名、シート名.....	3
(2) 電子媒体・フォルダ構成.....	4
(3) 「概要情報」の取り扱い.....	5
ア 基本事項.....	5
(4) 「建築・設備情報」の電子データ（建築・設備情報(建物(棟))、建築・設備情報(敷地)）.....	6
ア 基本事項.....	6
イ 前回調査データがある建築物.....	6
ウ 前回調査データがない建築物.....	7
第2章 ファイル取り扱い要領	8
1 概要情報.....	8
2 建築・設備情報(建物(棟))データ.....	8
(1) 詳細.....	8
ア 初期画面.....	8
イ 入力.....	8
ウ 入力方法.....	9
エ 同項目が複数必要な場合.....	12
3 建築・設備情報（敷地）データ.....	13
(1) 詳細.....	13
ア 初期画面.....	13
イ 入力.....	13
ウ 入力方法.....	13
エ 同項目が複数必要な場合.....	15

第1章 基本事項

1 概要

本要領は設計または工事を行う建物の概要情報や、建築・設備情報の電子データの作成方法を説明するもの。
電子データは福岡市建築物保全情報システム(以下 保全情報システムという)に取り込む。
電子データの流れを図1に示す。

図1 電子データの流れ



2 配布データ

表1に掲げる建物の概要情報、建築・設備情報を入力するための電子ファイルを配布する。

表1 配布データ

ファイルの用途及びフォルダ名	ファイルの種類	ファイル名	シート名	内容	備考
フォルダ名 [施設名]	概要情報	[日付].[施設名].概要情報.xlsx	施設概要 敷地概要 建物(棟)概要	施設概要、施設構成建物(棟)、 設備概要 入居施設、敷地概要、外構 入居施設、階別面積、 建物(棟)概要	
			建物(棟)建築概要 建物(棟)電気設備概要 建物(棟)機械設備概要 ※複数棟の場合は棟毎	建築概要 電気設備概要 機械設備概要	
			建築基準法関係	設計または工事に関連して受 理した計画通知、許認可等	
			選択入力項目表	入力内容を定めている項目の 一覧表	
	建築・設備情報 (建物(棟))	[日付].[施設名].[棟名].[棟連番].建築.xlsx [日付].[施設名].[棟名].[棟連番].電気.xlsx [日付].[施設名].[棟名].[棟連番].機械.xlsx [日付].[施設名].[棟名].[棟連番].防火.xlsx	A_建築仕上	建築仕上	
			B_電気詳細	電気設備機器詳細	
			C_機械詳細	機械設備機器詳細	
建築・設備情報 (敷地)	[日付].[土地名称].建築外構.xlsx [日付].[土地名称].電気外構.xlsx [日付].[土地名称].機械外構.xlsx	D_防火詳細	防火設備機器詳細		
		A_建築外構 B_電気外構 C_機械外構	外構詳細		

3 概要情報、建築・設備情報の整理・作成

配布した電子データを利用して、概要情報、建築・設備情報の整理を以下のとおり行うものとする。

(1) ファイル名、シート名

(ア) 配布し提出するファイル名と作成方法は表2のとおりとする。

(イ) 各ファイル内のシート名の変更は不可とする

表2 ファイル名と作成方法

「提出するファイル名」の[]は不要

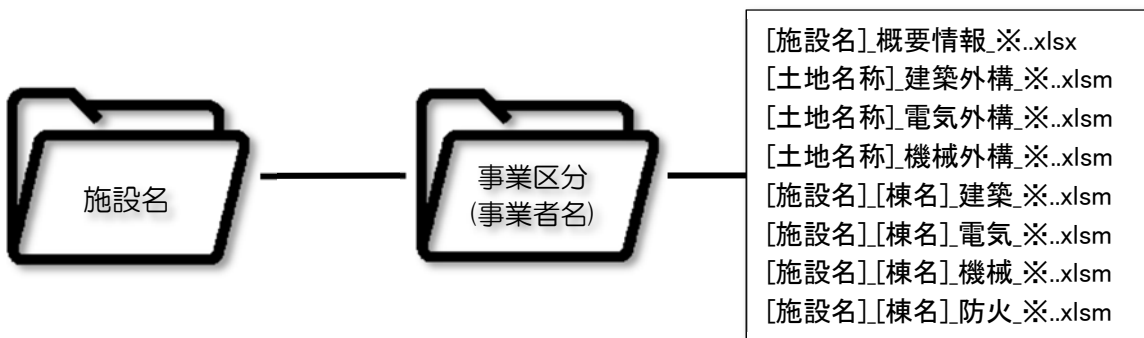
配布先	ファイルの種類	配布データのファイル名	提出するファイル名
建築設計事業者	概要情報	[日付][施設名]概要情報.xlsx	[施設名]概要情報_建築設計済.xlsx
	建築・設備情報(建物(棟))	[日付][施設名][棟名][棟連番]建築.xlsx	[施設名][棟名][棟連番]建築_設計済.xlsx
	建築・設備情報(敷地)	[日付][土地名称]建築外構.xlsx	[土地名称]建築外構_設計済.xlsx
設備設計事業者	概要情報	[日付][施設名]概要情報.xlsx	[施設名]概要情報_設備設計済.xlsx
	建築・設備情報(建物(棟))	[日付][施設名][棟名][棟連番]電気.xlsx	[施設名][棟名][棟連番]電気_設計済.xlsx
		[日付][施設名][棟名][棟連番]機械.xlsx	[施設名][棟名][棟連番]機械_設計済.xlsx
		[日付][施設名][棟名][棟連番]防火.xlsx	[施設名][棟名][棟連番]防火_設計済.xlsx
建築・設備情報(敷地)	[日付][土地名称]電気外構.xlsx	[土地名称]電気外構_設計済.xlsx	
	[日付][土地名称]機械外構.xlsx	[土地名称]機械外構_設計済.xlsx	
建築工事事業者	概要情報	[施設名]概要情報_建築設計済.xlsx	[施設名]概要情報_建築工事済.xlsx
	建築・設備情報(建物(棟))	[施設名][棟名][棟連番]建築_設計済.xlsx	[施設名][棟名][棟連番]建築_工事済.xlsx
	建築・設備情報(敷地)	[土地名称]建築外構_設計済.xlsx	[土地名称]建築外構_工事済.xlsx
電気工事事業者	概要情報	[施設名]概要情報_設備設計済.xlsx	[施設名]概要情報_電気工事済.xlsx
	建築・設備情報(建物(棟))	[施設名][棟名][棟連番]電気_設計済.xlsx	[施設名][棟名][棟連番]電気_工事済.xlsx
		[施設名][棟名][棟連番]防火_設計済.xlsx	[施設名][棟名][棟連番]防火_工事済.xlsx
建築・設備情報(敷地)	[土地名称]電気外構_設計済.xlsx	[土地名称]電気外構_工事済.xlsx	
衛生・空調工事事業者	概要情報	[施設名]概要情報_設備設計済.xlsx	[施設名]概要情報_衛生工事済.xlsx
	建築・設備情報(建物(棟))	[施設名][棟名][棟連番]機械_設計済.xlsx	[施設名][棟名][棟連番]機械_工事済.xlsx
	建築・設備情報(敷地)	[土地名称]機械外構_設計済.xlsx	[土地名称]機械外構_工事済.xlsx

(2) 電子媒体・フォルダ構成

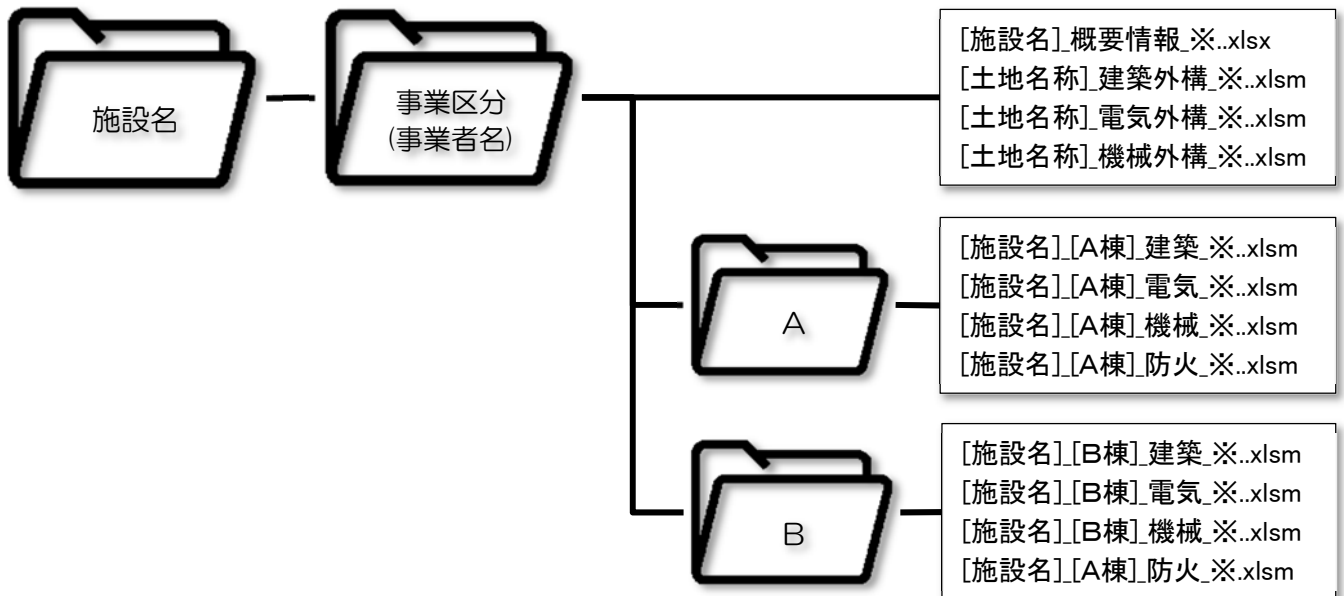
- (ア) 電子媒体は、CD-Rとする。レーベルに年度、施設名、点検受託者名等を記入する。
- (イ) 「所管局・課名」のフォルダを最上位に作成する。
- (ウ) 「所管局・課名フォルダ」の中に「施設名」を作成し、作成した各ファイルを置く。
事業区分は「〇〇設計」、「〇〇工事」等とし事業者名も記入する。
複数棟がある場合は、「棟名」フォルダも作成し、棟毎に整理する。

(例) 建物が1棟の場合

※の部分は表2の「提出するファイル名」欄を参照
提出するファイル名の「[]」は不要



(例) 建物が2棟の場合



(3) 「概要情報」の取り扱い

ア 基本事項

過去のデータがあるものは、記載データの確認を行い変更が必要な部分は、電子データを修正する。「建築基準法関係」シートには、設計または工事に関連して受理した計画通知、許認可等を記入する。作成は表3により建築関係、設備関係の分野に応じて該当する契約事業者が行う。

複数の建物で構成される施設の場合は、棟毎に概要を作成する。

複合施設・・・複数の施設が同一の建築物に入っている場合。

単独施設・・・ひとつの施設が単独あるいは複数の建物で構成される場合。

表3 概要情報の作成者

ファイルの種類	ファイル名	シート名	項目	作成する事業者	
概要情報	〇〇_概要情報_〇〇..xlsx	施設概要	■電気設備概要	設備設計	電気工事
			■機械設備概要	設備設計	衛生・空調工事
		敷地概要	■敷地概要	建築設計	建築工事
			■建築外構	建築設計	建築工事
			■電気設備外構	設備設計	電気工事
			■機械設備外構	設備設計	衛生・空調工事
		建物(棟)概要	(すべて)	建築設計	建築工事
		建物(棟)建築概要	(すべて)	建築設計	建築工事
		建物(棟)電気設備概要	(すべて)	設備設計	電気工事
		建物(棟)機械設備概要	(すべて)	設備設計	衛生・空調工事
建築基準法関係	(すべて)	設計	工事		

(4) 「建築・設備情報」の電子データ(建築・設備情報(建物(棟))、建築・設備情報(敷地))

ア 基本事項

第2章の「ファイル取り扱い要領」を参考に、電子データを作成する。

電子データを印刷する場合は、「部位・室名」の項目でフィルタをかけて印刷する。

共通事項

建築・設備情報(建物(棟))データのファイルにはさまざまな項目が事前に入力されているので、該当項目行を選択し記入する。

同じ部位を複数入力する場合は、「12 ページ ウー(ア)ーA 行コピーの方法」により当該部位を「行コピー」する。

設計業務の場合、「メーカー名」、「メーカー型番」、「設置年月」、「撤去年月」は記入不要。

「今回評価」欄は、新設、更新の場合は半角大文字で A、改修を行う場合は半角大文字で Z を記入する。撤去の場合は記入不要。

ファイル作成に当たっては、下記に留意する。

「新規登録」の項目には、下記により番号を記入する。

この項目は確認メモであり、保全情報システム上は

新規:設置年月記入・今回評価記入・seq 空欄

撤去:撤去年月記入・seq 記入済み

修正:旧データを撤去処理・修正データ(旧データをコピー修正)新規処理

1:新規

改修、模様替えなどにより室の新設や部位の更新(例:建築工事 仕上げから下地までの取替、設備工事 機器すべての取替)を行う場合は、行を追加し必ず設置年月を記入する(設計業務の場合は記入不要)。

今回評価欄は半角大文字で A を記入。あわせて、定期点検コメント欄にも内容を記入する。

(例)「200703 新設」、「200703 更新」

前回調査データがなく、施設データを新規に入力する場合。

2:撤去

改修などにより部位・室が撤去される場合、必ず撤去年月(設計業務の場合は記入不要)を記入する。記入がないと、保全情報システムへ取込み不能となる。あわせて、定期点検コメント欄にも内容を記入する。

(例)「200703 撤去」

3:修正

小規模修繕等があり項目、仕様等を修正する場合、あるいは、現データと現地に相違があり、誤記を修正する場合に記入する。あわせて、定期点検コメント欄にも内容を記入する。

(例)「200703 修正」

修正は行をコピーし「seq」(管理通番)を削除して修正内容を記入する。既存行は削除処理。

※ 小規模修繕で仕上げ、機器の仕様等の変更はないが、壁の塗り替え、機器の部品取替や、オーバーホールにより修繕を施す場合は、新規登録欄の記入は不要、今回評価欄に半角大文字で Z を記入し(設計業務の場合は記入不要)、定期点検コメント欄に記入する。

(例)「200703 修理」

イ 前回調査データがある建築物

第2章のファイル取り扱い要領を参考に、設計・工事内容を入力し、電子データを作成する。

ファイル作成に当たっては、下記に留意する。

(ア) 改修・改造等を行う施設で仕様の一部に変更修正があれば箇所修正を行い、「新規登録」セルに 3 を記入すると共に、定期点検コメント欄に、その旨記入する。

(イ) (例)「200703 修理」、「200703 修正」

- (ウ) 今回評価欄は半角大文字で Z を記入(設計業務の場合は記入不要)。
- (エ) 撤去されている部位は、「新規登録」に、番号 2 を記入するとともに、撤去年月を必ず記入する。
- (オ) 改修・改造等に伴い前回調査データを利用できない部位(行)があり、その部位の新規データを追加作成する場合は、この要領の第 2 章により、必要な項目を追加して電子データを作成する。「新規登録」セルに 1 を記入する。
- (カ) 部位の「メーカー名」、「メーカー型番」、「設置年月」、「撤去年月」は、設計業務の場合は記入不要。

ウ 前回調査データがない建築物

前回調査データがない建築物の点検においては、第 2 章のファイル取り扱い要領を参考に、必要な項目を記入した電子データを作成する。

ファイル作成に当たっては、下記に留意する。

- (ア) 建物については、「建物(棟)連番」・「建物(棟)名称」・「今回調査年度」・「部位・室名」・「今回評価」は入力必須。

外構については、「敷地連番」・「施設(土地)名称」・「今回調査年度」・「場所」・「今回評価」は入力必須。

- (イ) 「新規登録」欄は、1 を記入。

- (ウ) 「階」の表記は半角大文字で下記の記入例に従う。

地下階1階→B1 地上階1階→1 屋上階→R 塔屋階1階→P1 塔屋屋上→PR

- (エ) 同名の室がある場合は、必要により室名の後ろに番号をつける。

- (オ) (例)更衣室 1、更衣室 2

この番号はエレベータ(無い時は主階段)に近い方から順に付ける。

建築情報、電気設備情報、機械設備情報の各室名番号も同じとなるので記入者相互で協議する。

ウ 入力方法

各項目は配布時に既存情報より自動記載されていることもあるが修正可能

㊦「今回調査年度」: 工事完成年度(西暦)を半角数字4桁(yyyy)で入力。
設計業務の場合は記入不要。

㊧「大項目、中項目、小項目」: 項目内容該当行を選択。

※中項目、小項目に該当項目がない場合は㊧「その他項目名」にその内容を記入。

㊨「階」: 階数表記は半角大文字で記入。

(例)地下階1階→B1、地上階1階→1、「屋上階」→R、塔屋階1階→P1、塔屋屋上→PR

「躯体」「外壁」等階にとらわれない項目は未記入。

(電気) 幹線系等複数の階にまたがる場合は未記入。

(機械) 配管系等複数の階にまたがる場合は未記入。

㊩「部位・室名」: 同名の室がある場合は、必要に応じ室名に枝番をつける。

(例)更衣室 1、更衣室 2

枝番はエレベータ(無い時は主階段)に近い方から順に付ける。

建築情報・電気設備情報・機械設備情報の室名番号も同じとなるので各記入者と協議すること。

上記以外の入力に関しては下記一覧を参照。

該当場所	記入方法
外部	躯体の「部位」は「全体」とする 外壁の「打診」点検は窓やベランダ等から手が届く危険のない範囲で行い、第三者災害にも十分注意する 外壁は東西南北の4面とし、部位は「東面」等とする 外部床とは外壁から概ね1メートル程度までとする 外部天井とは軒下、庇下とする 外部建具は外壁面毎に、各外壁面の同一種類、形状ごとに記入し、「開閉方式」は「ピボットヒンジ」「蝶番ヒンジ」「縦軸回転」等する
内部	主要室を対象とする 部屋毎に「内部床」「内部壁」「内部天井」「内部建具」を記入する 大規模建物は、担当者と協議して共通した部屋毎にまとめる 内部建具は、室間の物を各室毎に同一種類、形状ごとにまとめる 防火防煙機器(扉・窓・シャッター等)があるときは、主要室以外も記入する 簡易間仕切りについては延べ長さを記入する

㊪「名称・記号」: 必要に応じ記入。

㊫「仕様(1~4) 項目名」・「仕様(1~4) 単位」: 既に表示されている内容や行コピー後に表示した内容の修正は不可。

㊬「仕様(1~4) 入力欄」: 修正または下記一覧の条件に従って入力。

㊭(電気・機械)「主要機器」: 主要機器は「○」を記入。表示された「○」の記号は修正不可。

設計業務の場合は記入不要。(以下㊮まで同じ)

(電気・機械)「主要機器」は機器単体ごとに記入し、主要機器以外は項目ごとに階別に記入する。

(建築)

入力条件	
「仕様(1~4)項目名」に文字が入っている場合に、その内容を入力する 「仕様(1~4) 項目名」に文字が入っていない場合でも、入力出来る情報は極力入力する 「仕様(1~4) 項目名」が「工法・下地」の場合は、右側の入力欄に工法または下地の種類を記入する 「仕様(1~4) 項目名」が「既製・特注」の場合は、既製品か特注品かを記入する 「仕様(1~4) 項目名」が「〇〇・〇〇」は前後関係を考慮して記入する	

(電気)

入力条件	
「仕様(1~4)項目名」に文字が入っている場合に、その内容を入力する 「仕様(1~4) 項目名」に文字が入っていない場合でも、入力出来る情報は極力入力する 「仕様(1~4) 項目名」が「〇〇・〇〇」は前後関係を考慮して記入する	
受変電設備 自家発電機設備 蓄電池設備 無停電電源設備	受変電設備の変圧器、コンデンサ、蓄電池等の「仕様 1」欄の「型式」には「屋内閉鎖型盤内」「屋外閉鎖型盤内」「屋内開放」「屋外開放」等を記入する 発電機、バッテリーなど調査時に動作していないものは動作確認の必要はない 中央監視専用の無停電電源設備は無停電電源設備の項目で記入する 二次側電圧も「kV」単位で記入、「相数・線数」は「単相三線」等と記入する
中央監視制御設備	機械設備の中央監視制御設備と重複しないよう区分けする 小項目の「独自方式」はメーカー固有の方式、「オープン方式」は「Bacnet」等のオープン方式をいう 監視点数は「制御」「表示(監視)」「計測・計量」の監視点数の合計値とする メーカーにより数え方の違う制御点数は「入」「切」合わせて1点とする 「仕様 1」の P.D.はポインティングデバイス(マウス、タッチペン等)の略 「仕様 2」の PD はプラズマディスプレイの略
幹線設備 避雷・接地設備 動力・分電盤設備	幹線系統数は、高圧受電の場合は受変電設備の二次側、低圧受電の場合は引込盤の二次側を記入する 「仕様 1」には電灯〇〇系統、「仕様 2」には動力〇〇系統、「仕様 3」にはその他〇〇系統と記入する(〇〇は系統数) 接地極のサイズ、本数は完成図書から読み取る「部位」が特定できないときは「屋内」「屋外」とする 「棟上導体」の「型式」は「より線」「銅バー」「銅棒」等材質形状を記入する 「構造体接地」の型式は「鉄筋」「鉄骨」等に対応する構造体を記入する
電灯設備 非常照明・誘導灯	電灯設備の「仕様 1」には「直付け天井型」「パイプ吊り」「天井埋込型」「その他」と記入する 「仕様 2」には「1 灯、2 灯、3 灯・・・」と記入する 「仕様 3」には「台数」、小項目の「その他」には「仕様 3」の欄に 40W、Hf32W を除く残りの台数を記入する 非常照明・誘導灯の「型式」は建物内で使われている器具について記入する 小項目(型式等)の「白熱灯型」「蛍光灯型」「冷陰極管(コンパクト型)」「その他」に分けて記入し、それぞれ「仕様 3」に台数を記入する 「その他」には「白熱灯型」「蛍光灯型」「冷陰極管(コンパクト型)」を除く残りの台数を記入する
電話交換機設備	構内電線路設備は、図面を主体に調査する 電話交換機の蓄電池が、蓄電池盤(概ね 4800AH セル)として独立するときには大項目の「蓄電池設備」に記入し、該当する「名称・記号」欄に「電話交換機用」と記入する
テレビ共視聴設備 電波障害防除設備 インターホン設備 電気時計設備	「直列ユニット」の「仕様 1」には直列ユニットの数を記入する 電波障害防除設備は当該建築物に設置されているものだけを記入する インターホンが複数組設置されている場合は個別に記入する 電池式時計は対象外
駐車場管制設備 一般放送設備 警報・表示設備 防犯設備 監視カメラ設備	単独設置の駐車場出入口の「出庫情報」(ランプ、ブザー等)は駐車場管制に含む 駐車場管制の「機能」欄には特徴を記入する 非常放送設備と兼用の放送設備は大項目「非常放送設備」欄に記入する 大項目「警報・表示設備」には、出退表示器、身障者便所の警報受信器及びこれに類する表示器等が該当する 一般放送が複数セットある場合は名称欄に特定できるように記入する 警報・表示の子機に窓が無いときには「仕様 1」は「無」と記入し、「仕様 2」に子機数を「〇〇台」と記入する 大項目「防犯設備」のセンサー数は概略数を記入する 電気錠は大項目「防犯設備」の「センサー」の「その他」欄に記入する 監視システムの構成外のテレビ(一般視聴用テレビ)は、調査対象外とする
非常放送設備 自動火災報知設備 防排煙制御設備 ガス漏れ警報設備	「非常放送設備」の遠隔操作器は本体架等に組み込まれたものも含む 「自動火災報知設備」受信盤の回線数には、中継器窓数、防排煙制御数、ガス漏れ感知器の窓数など全てを含む。 ただし、各システムが単独の場合は各システムに記入する 中継器等を各設備で共用している場合は自動火災警報設備に記入する 「自動火災報知設備」の「感知器」の「一般」は従来の感知器とし、「その他」は「ビーム式感知器」「炎感知器」等の特殊なものとする 「ガス漏れ警報設備」の「単独式」は、「仕様 2」に個(組)数を記入する

(機械)

入力条件	
「仕様(1~4)項目名」に文字が入っている場合に、その内容を入力する 「仕様(1~4) 項目名」に文字が入っていない場合でも、入力出来る情報は極力入力する 「仕様(1~4) 項目名」が「○○・○○」は前後関係を考慮して記入する	
共通	「暖房・給湯」等の表示がある場合は、「仕様」欄に該当する内容を記入する 能力が表示がされているものは SI 単位に換算し記入する また熱交換効率等の性能表示があるものも「仕様」欄に記入する 「電源相数、電圧、電力」欄には「3 相 200V 5.5kW」等と記入する 能力 kW と電動機出力 kW を混同しないこと
冷温熱源設備 熱源関連機器設備	コージェネレーション設備の熱交換器は「冷温熱源設備」に含む ボイラの「仕様 1」の「用途・方式」には「暖房・温水」等と記入する 配管等で部位を特定できない場合は「屋内」「屋外」とする
空調・換気設備	水冷パッケージ用「冷却水配管」、「ポンプ」「冷却塔」は「熱源関連機器設備」とする 天井埋め込み機器等で、銘板が読めない場合は、完成図書等で確認し、機器番号、名称を記入することを原則とするが、不明な場合は設置場所から特定できるように記入する 「フィルタ」「全熱交換器」「加湿器」等の空調機組み込み型機器については完成図書等を参考に記入する
機械排煙設備	「排煙口」の型式は「電動」「電磁スプリング」等の動作方式を記入する 排煙設備の監視制御は電気設備に記入する
中央監視制御設備 自動制御設備	電気設備の中央監視制御設備と重複しないよう区分けする 小項目の「独自方式」はメーカー固有の方式、「オープン方式」は「Bacnet」などのオープン方式をいう 監視点数は「制御」「表示(監視)」「計測・計量」の監視点数の合計値とする メーカーにより数え方の違う制御点数は「入」「切」合わせて 1 点とする 「仕様 1」の P.D.のポインティングデバイス(マウス、タッチペン等)の略 「仕様 2」の PD はプラズマディスプレイの略 自動制御設備の監視盤は「中央監視設備」に含む 「制御台数」は 1 ユニットが制御する被制御機器の最大数をいう「台数」はそのユニットの台数を言う
その他機械設備	銘板が読めないものについては完成図書等で確認し、機器番号、名称を記入する 受水槽、高置水槽が「屋外」に設置されている場合は、「階」に「屋外」と記入する 「仕様 1」の「用途」には「上水」「中水」「空調用」等と記入するまた、「水位調整方式」は「ボールタップ」「定水位弁」「電磁弁」等と記入する 「メーター」の「計量方式」は「直読」、「隔測」と記入する ガス設備で調圧器がある場合は中項目の「その他項目」欄に「ガス調圧器」と記入し「仕様 1」欄に種類を記入する 設置の消火設備は全て記入する 消火器(大型消火器も含む)は建物概要項目で有無を確認する エレベータ、エスカレータ等について完成図書等を中心に記入する エアシュータ等は搬送設備の「その他」とする

- ①「メーカー名」「メーカー型番」:(電気・機械)主要機器の場合は機器が特定できるように型番等を記入。
- ②「設置年月」:
建築の場合、改修年月、更新年月と読替える。
西暦年月を半角数字で yyyyymm の形式で記入。
(例) 2007 年 4 月の場合は 200704。
月が不明な場合は西暦年迄とし yyyy(西暦年) の形式で記入。例)2007 年の場合は、2007。
- ③「撤去年月」:
西暦年月を半角数字で yyyyymm の形式で記入。
月が不明な場合は西暦年とし yyyy の形式で記入。
(例)2007 年の場合は 2007。
- ④「今回評価」: 入力必須
新設、更新の場合は半角大文字で A、改修を行う場合は半角大文字で Z を記入。
ただし撤去する項目については記入不要。
- ⑤「定期点検コメント」:
(例)新設、更新、撤去、修理、修正の場合はそれぞれ「200703 新設」、「200703 更新」、「200703 撤去」、
「200703 修理」、「200703 修正」。
- ⑥「seq」(管理通番の略称): 修正不可
新規登録等のため行コピーを行った場合は、「seq」(管理通番の略称)を空欄とする。

エ 同項目が複数必要な場合

該当項目が複数必要な場合は、以下の方法で必要数を「行コピー」する。

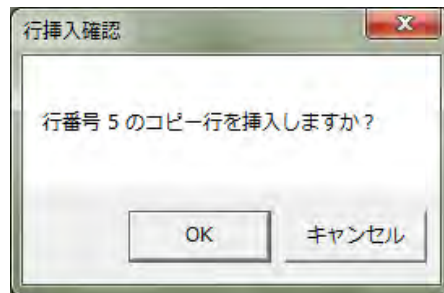
(ア) 行コピーの方法

コピーする行の任意のセルをマウスで左クリックして行を選択する。

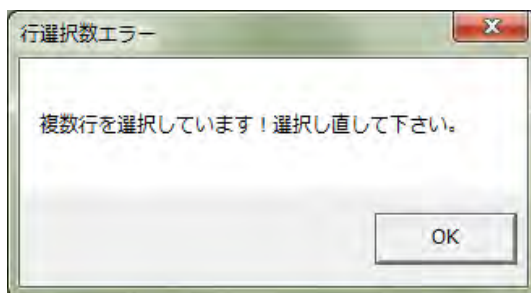
1 行目 S～W列にある[行挿入]ボタンをクリックすると下に行コピーされる。

O	P	Q	R	S	T	U	V	W
	今回調査年度:				行挿入		行削除	

コピーする前に確認メッセージが表示される。

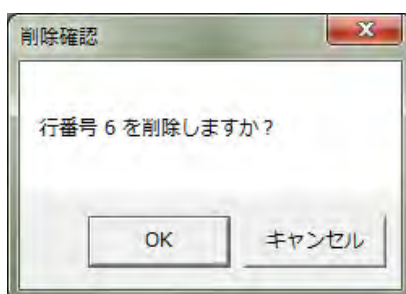


複数行を選択するとエラーメッセージが表示される。

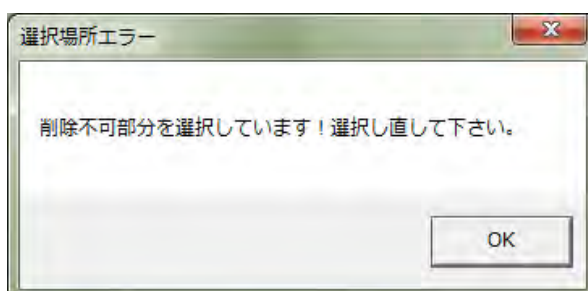


(イ) 行の削除

削除する前に確認メッセージが表示される。



「seq」(管理通番)は記入者が行コピーで行挿入を行った部分のみ削除可能。



3 建築・設備情報(敷地)データ

(1) 詳細

保全情報システムへ取込むための Excel データを作成する。

建築 ファイル名: 日付_土地名称_建築外構 シート名: A_建築外構 (シート名修正不可)
 電気 ファイル名: 日付_土地名称_電気外構 シート名: B_電気外構 (シート名修正不可)
 機械 ファイル名: 日付_土地名称_機械外構 シート名: C_設備外構 (シート名修正不可)

ア 初期画面

建築・設備情報(敷地)の建築外構 Excel データを開くと下記画面が表示される。

下記 Excel データ配布時には最低限①「敷地連番」・②「施設(土地)名称」・③「大項目、中項目、小項目」全項目・④「前回調査年度」・⑤「前回評価」が自動的に記載されている。

(※出力時点で該当建物(棟)に存在しない項目の前回評価の値は空)

The screenshot shows an Excel spreadsheet with columns labeled A through AE. A red box highlights a section of the table. Within this box, letters A through P are placed in various cells to indicate required or non-editable data points. The table contains multiple rows of data, including project names, survey years, and evaluation scores.

※必要に応じて A 列にメモ番号を記入する。(1:新規 2:撤去 3:修正) 記入による修正機能なし。

イ 入力

(ア) 注意事項

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿は、入力必須。①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿は、修正不可。

列の取扱い: オリジナル列(配布時に表示されている内容)の削除や列を挿入しない。

セルの連結を行わない。

行の取扱い: オリジナル行(配布時に表示されている内容)の削除を行わない。

空白行を挿入しない。セルの連結を行わない。

1 行目(敷地連番・施設(土地)名称・前回調査年度・今回調査年度)、及び 2 行目(一覧項目内容)部分は削除しない。

①「敷地連番」は配布時に入力済。修正不可

②「施設(土地)名称」「前回調査年度」(※新規建物(棟)の場合は空白)は配布時に入力済。修正不可

③ 登録表示されている「大項目、中項目、小項目」は修正不可。

④「前回調査年度」は配布時に入力済。修正不可

⑤「前回評価」は配布時に入力済。修正不可

ウ 入力方法

⑥「今回調査年度」: 工事完成年度(西暦)を半角数字 4 桁(yyyy)で入力。

設計業務の場合は記入不要。

⑦「大項目、中項目、小項目」: 項目内容該当行を選択。

※中項目、小項目に該当項目がない場合は⑧「その他項目名」にその内容を記入。

⑨「場所」: 同名の場所がある場合は、必要に応じ場所名に枝番号を付ける。

(例) 西側塀 1、西側塀 2。

枝番は主建物(棟)に近い方から順に付ける。

建築外構情報、電気外構情報、機械外構情報の場所名も同じとなるので各記入者と協議すること。

上記以外の入力に関しては下記一覧を参照。

(建築)

該当場所	記入方法
外構部位	塀・擁壁等の「打診」点検は手が届く危険の無い範囲で行い、第三者災害にも十分注意する 塀・擁壁等は東西南北の4面とし、部位は「東面」等とする 舗装、外部通路とは内部で登録されていない外壁から概ね1メートル程度以外とする 看板・サイン・鉄塔等とは建物外壁から独立しているものとする 屋上は原則として建屋に含むが、地下埋設家屋等で外構として扱うことが適切な場合は外構とする

①「名称・記号」: 必要に応じ記入。

②「仕様(1~4) 項目名」・「仕様(1~4) 単位」: 既に表示されている内容や行コピー後に表示した内容の修正は不可。

③「仕様(1~4) 入力欄」: 修正または下記一覧の条件に従って入力。

入力条件(共通)
「仕様(1~4)項目名」に文字が入っている場合に、その内容を入力する 「仕様(1~4) 項目名」に文字が入っていない場合でも、入力出来る情報は極力入力する 「仕様(1~4) 項目名」が「○○・○○」は前後関係を考慮して記入する

(電気)

該当場所	記入方法
外構部位	建物外壁に取り付けられている盤・器具・マンホール等は建物(棟)設備として記入する 独立した盤・器具・マンホール等は設置場所番号とさらに連続番号により分ける

入力条件	
外灯設備	電灯設備の「仕様 1」には「庭園灯」、「街路灯」、「投光器型」、「その他」等と記入する 「仕様 2」には管球の定格電力「○○W」、「仕様 3」には「1 灯、2 灯、3 灯・・・」と記入する 「仕様 4」には「台数」を記入する

(機械)

該当場所	記入方法
外構部位	建物外壁に取付けられた機器・器具・マンホール等は建物(棟)設備として記入する 空調室外機は犬走り・屋上等に設置されていても建物(棟)設備として記入する 独立した機器・器具・マンホール等は設置場所番号とさらに連続番号により分ける

入力条件	
給排水衛生設備	屋外オイルタンクデータの仕様は、建屋内タンク仕様のデータに準ずる

Ⓚ「メーカー名」・「メーカー型番」:(電気・機械)主要機器の場合は機器が特定できるように型番等を記入。

Ⓛ「設置年月」:

建築の場合、改修年月、更新年月と読替える。

西暦年月を半角数字で yyyyymm の形式で記入。

(例) 2007 年 4 月の場合は 200704

月が不明な場合は西暦年迄とし yyyy(西暦年) の形式で記入。例)2007 年の場合は、2007

Ⓜ「撤去年月」:

西暦年月を半角数字で yyyyymm の形式で記入。

月が不明な場合は西暦年とし yyyy の形式で記入。

(例)2007 年の場合は 2007

Ⓝ「今回評価」: 入力必須

新設、更新の場合は半角大文字で A、改修を行う場合は半角大文字で Z を記入。

ただし撤去する項目については記入不要。

Ⓞ「定期点検コメント」:

(例)新設、更新、撤去、修理、修正の場合はそれぞれ「200703 新設」、「200703 更新」、「200703 撤去」、「200703 修理」、「200703 修正」。

⑨「seq」:修正不可

新規登録等のため行コピーを行った場合は、「seq」(管理通番の略称)を空欄とする。

エ 同項目が複数必要な場合

同じ部位を複数入力する場合は、「12 ページ ウー(ア)ーA 行コピーの方法」により当該部位を「行コピー」する。